

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成28年8月12日

【四半期会計期間】 第70期第1四半期(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

【会社名】 鈴縫工業株式会社

【英訳名】 SUZUNUI CORPORATION

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 鈴木 一 良

【本店の所在の場所】 茨城県日立市城南町1丁目11番31号

【電話番号】 0294(22)5311(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 薄 井 利 晴

【最寄りの連絡場所】 茨城県日立市城南町1丁目11番31号

【電話番号】 0294(22)5311(代表)

【事務連絡者氏名】 取締役管理本部長 薄 井 利 晴

【縦覧に供する場所】 鈴縫工業株式会社東京支店
(東京都渋谷区宇田川町3番14号)
株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

| 回次 会計期間 | 第69期 第1四半期 連結累計期間 | 第70期 第1四半期 連結累計期間 | 第69期 |
|----------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | 自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日 | 自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日 | 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日 |
| 売上高 (千円) | 4,194,668 | 3,592,403 | 18,059,602 |
| 経常利益 (千円) | 225,924 | 333,028 | 1,529,484 |
| 親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益 (千円) | 75,161 | 207,916 | 738,976 |
| 四半期包括利益又は包括利益 (千円) | 124,182 | 228,570 | 760,285 |
| 純資産額 (千円) | 4,384,185 | 5,130,648 | 5,020,245 |
| 総資産額 (千円) | 12,660,517 | 13,258,962 | 14,077,088 |
| 1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円) | 7.20 | 19.92 | 70.80 |
| 潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円) | | | |
| 自己資本比率 (%) | 29.7 | 33.9 | 31.1 |

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していない。
- 2 売上高には、消費税等は含まれていない。
- 3 第69期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額、第69期第1四半期連結累計期間及び第70期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載していない。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はない。また、主要な関係会社に異動はない。

なお、連結子会社である㈱スイシンの居宅介護(通所介護)事業については、平成28年7月に閉鎖している。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の異常な変動等又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」について重要な変更はない。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はない。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものである。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の経済政策や日銀の金融政策を背景に緩やかな回復基調が続いた。しかしながら、英国のEU離脱の影響を始め、海外経済の不確実性の高まりによる景気下押しリスクをはらみ、先行きの不透明感が高まる状況となっている。

当社グループが主事業として展開している建設産業においては、主な事業エリアである茨城県内の公共投資は減少傾向にありながらも、公共事業早期発注の政府方針もあり、依然として高い水準を維持している。民間建設投資は、企業収益の改善やインバウンド市場の活況などを背景に、引き続き回復基調が続いている。しかしその一方で、オリンピック関連事業の本格化に伴う資材・労務価格の上昇や、公共事業の減少に伴う民間工事における受注・価格競争の激化など、依然として厳しい経営環境にある。

このような状況の下、当社グループは総力を挙げて受注及び収益の確保に努めた結果、当第1四半期連結累計期間の受注は5,677百万円(前年同四半期比78.1%増加)となり、売上高については、前連結会計年度からの繰り越し工事量が前年同四半期と比較して少なかったこと等により、当第1四半期連結累計期間は3,592百万円(前年同四半期比14.4%減少)となった。

また、利益面については、売上高が減少したものの、工事原価の圧縮や経費削減に努めたことなどにより採算性が改善し、営業利益は328百万円(前年同四半期比47.1%増加)、経常利益は333百万円(前年同四半期比47.4%増加)、親会社株主に帰属する四半期純利益は207百万円(前年同四半期比176.6%増加)となった。

セグメントの業績は、次のとおりである。

(建設事業)

建設事業としては、前連結会計年度より繰り越された手持工事量が前年同四半期と比較して少なかったこと等により、当第1四半期連結累計期間の売上高は3,374百万円(前年同四半期比16.0%減少)となり、セグメント利益は工事の採算性改善等により257百万円(前年同四半期比35.6%増加)となった。

(不動産事業)

不動産事業としては、土地の分譲販売が前年を上回り、売上高は119百万円(前年同四半期比113.3%増加)となり、セグメント利益は42百万円(前年同四半期比982.9%増加)となった。

(介護事業)

介護事業としては、依然として同業他社との激しい顧客獲得競争が続いたこと等により、売上高は32百万円(前年同四半期比4.9%減少)となり、セグメント損失は2百万円(前年同四半期はセグメント損失3百万円)となった。

(太陽光発電事業)

太陽光発電事業としては、茨城県内にある3基(北茨城市に2基と鉾田市に1基)のメガソーラーが稼働しており、売上高は66百万円(前年同四半期比3.3%減少)、セグメント利益は29百万円(前年同四半期比5.0%減少)となった。

(2) 財政状態の分析

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,355百万円(14.3%)減少し、8,110百万円となった。これは主に、現金預金が925百万円、受取手形・完成工事未収入金等が203百万円、未成工事支出金が121百万円、流動資産のその他が48百万円それぞれ減少したこと等によるものである。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて537百万円(11.7%)増加し、5,148百万円となった。これは主に、建物・構築物が133百万円、リース資産が328百万円、建設仮勘定が86百万円それぞれ増加したこと等によるものである。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて818百万円(5.8%)減少し、13,258百万円となった。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,432百万円(20.3%)減少し、5,617百万円となった。これは主に、未成工事受入金が443百万円増加したものの、支払手形・工事未払金等が987百万円、短期借入金が396百万円、未払法人税等が314百万円、流動負債のその他が139百万円それぞれ減少したこと等によるものである。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて503百万円(25.1%)増加し、2,510百万円となった。これは主に、長期借入金が186百万円、リース債務が321百万円それぞれ増加したこと等によるものである。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて928百万円(10.3%)減少し、8,128百万円となった。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて110百万円(2.2%)増加し、5,130百万円となった。これは主に、利益剰余金が103百万円増加したこと等によるものである。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、連結会社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はない。

(4) 研究開発活動

当社及び子会社においては、研究開発活動は特段行われていない。

(5) 主要な設備

当第1四半期連結累計期間において、新たに確定した重要な設備の新設計画は、次のとおりである。

| 会社名 事業所名 | 所在地 | セグメントの名称 | 設備の内容 | 投資総額 (千円) | 資金調達 方法 | 着工及び完了予定年月 | |
|-------------|--------|----------|---------|--------------|------------|------------|---------|
| | | | | | | 着工 | 完了 |
| 鈴縫工業(株) | 茨城県東海村 | 太陽光発電事業 | 太陽光発電設備 | 215,000 | 自己資金 | 平成28年5月 | 平成29年3月 |

(注)上記金額に消費税等は含まれていない。

- (注) 1 「第2 事業の状況」における各事項の記載については、消費税等抜きの金額で表示している。
 2 セグメント別の記載において、売上高については、「外部顧客への売上高」について記載し、営業損益については、「調整額」考慮前の金額によっている。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

| 種類 | 発行可能株式総数(株) |
|------|-------------|
| 普通株式 | 40,000,000 |
| 計 | 40,000,000 |

【発行済株式】

| 種類 | 第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成28年6月30日) | 提出日現在 発行数(株) (平成28年8月12日) | 上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名 | 内容 |
|------|--|---------------------------------|------------------------------------|-------------|
| 普通株式 | 10,596,509 | 10,596,509 | 東京証券取引所 (市場第二部) | 単元株式数1,000株 |
| 計 | 10,596,509 | 10,596,509 | | |

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はない。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はない。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はない。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

| 年月日 | 発行済株式 総数増減数 (株) | 発行済株式 総数残高 (株) | 資本金増減額 (千円) | 資本金残高 (千円) | 資本準備金 増減額 (千円) | 資本準備金 残高 (千円) |
|------------|-----------------------|----------------------|----------------|---------------|----------------------|---------------------|
| 平成28年6月30日 | | 10,596,509 | | 635,342 | | |

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はない。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できず、記載することができないため、直前の基準日(平成28年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしている。

【発行済株式】

平成28年6月30日現在

| 区分 | 株式数(株) | 議決権の数(個) | 内容 |
|----------------|-----------------------------|----------|------------------|
| 無議決権株式 | | | |
| 議決権制限株式(自己株式等) | | | |
| 議決権制限株式(その他) | | | |
| 完全議決権株式(自己株式等) | (自己保有株式) 普通株式 159,000 | | |
| 完全議決権株式(その他) | 普通株式 10,402,000 | 10,402 | |
| 単元未満株式 | 普通株式 35,509 | | 1単元(1,000株)未満の株式 |
| 発行済株式総数 | 10,596,509 | | |
| 総株主の議決権 | | 10,402 | |

(注)「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式が785株含まれている。

【自己株式等】

平成28年6月30日現在

| 所有者の氏名 又は名称 | 所有者の住所 | 自己名義 所有株式数 (株) | 他人名義 所有株式数 (株) | 所有株式数 の合計 (株) | 発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%) |
|-------------------|------------------------|----------------------|----------------------|---------------------|------------------------------------|
| (自己保有株式) 鈴縫工業株 | 茨城県日立市城南町 1丁目11番31号 | 159,000 | | 159,000 | 1.50 |
| 計 | | 159,000 | | 159,000 | 1.50 |

2 【役員の状況】

該当事項はない。

第4 【経理の状況】

1. 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に準拠して作成し、「建設業法施行規則」(昭和24年建設省令第14号)に準じて記載している。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けている。

1 【四半期連結財務諸表】

(1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|----------------|-------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金預金 | 5,034,708 | 4,109,500 |
| 受取手形・完成工事未収入金等 | 3,142,119 | 2,938,277 |
| 未成工事支出金 | 219,806 | 98,428 |
| その他のたな卸資産 | 739,509 | 710,212 |
| 繰延税金資産 | 67,601 | 39,368 |
| その他 | 267,471 | 218,774 |
| 貸倒引当金 | 5,445 | 4,423 |
| 流動資産合計 | 9,465,771 | 8,110,137 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物・構築物 | 2,574,777 | 2,708,214 |
| 機械、運搬具及び工具器具備品 | 713,120 | 720,734 |
| 土地 | 2,507,999 | 2,507,999 |
| リース資産 | 844,408 | 1,173,187 |
| 建設仮勘定 | - | 86,000 |
| 減価償却累計額 | 2,410,492 | 2,450,135 |
| 有形固定資産合計 | 4,229,812 | 4,746,000 |
| 無形固定資産 | 7,838 | 7,838 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 149,374 | 160,618 |
| 長期貸付金 | 43,867 | 43,421 |
| その他 | 240,081 | 250,536 |
| 貸倒引当金 | 59,656 | 59,590 |
| 投資その他の資産合計 | 373,666 | 394,986 |
| 固定資産合計 | 4,611,317 | 5,148,825 |
| 資産合計 | 14,077,088 | 13,258,962 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形・工事未払金等 | 3,050,842 | 2,063,082 |
| 電子記録債務 | 99,948 | 141,690 |
| 短期借入金 | ² 1,450,024 | ² 1,053,363 |
| 未払法人税等 | 397,767 | 83,755 |
| 未成工事受入金 | 1,127,321 | 1,570,966 |
| 賞与引当金 | 90,284 | 56,029 |
| 役員賞与引当金 | 50,000 | - |
| 完成工事補償引当金 | 13,233 | 18,627 |
| 工事損失引当金 | 1,319 | 506 |
| その他 | 769,162 | 629,450 |
| 流動負債合計 | 7,049,904 | 5,617,473 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|--------------------|-------------------------|------------------------------|
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 527,287 | 714,221 |
| リース債務 | 629,194 | 950,419 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | 325,820 | 325,820 |
| 役員退職慰労引当金 | 100,358 | 98,683 |
| 退職給付に係る負債 | 8,073 | 8,349 |
| 資産除去債務 | 100,288 | 100,575 |
| 負ののれん | 30,360 | 29,384 |
| その他 | 285,554 | 283,387 |
| 固定負債合計 | 2,006,938 | 2,510,841 |
| 負債合計 | 9,056,843 | 8,128,314 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 635,342 | 635,342 |
| 資本剰余金 | 23,289 | 23,289 |
| 利益剰余金 | 3,093,219 | 3,196,769 |
| 自己株式 | 18,413 | 18,413 |
| 株主資本合計 | 3,733,438 | 3,836,987 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 3,577 | 3,802 |
| 土地再評価差額金 | 647,622 | 647,622 |
| その他の包括利益累計額合計 | 651,200 | 651,425 |
| 非支配株主持分 | 635,606 | 642,234 |
| 純資産合計 | 5,020,245 | 5,130,648 |
| 負債純資産合計 | 14,077,088 | 13,258,962 |

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

| | (単位：千円) | |
|------------------|---|---|
| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
| 売上高 | 4,194,668 | 3,592,403 |
| 売上原価 | 3,644,485 | 2,966,091 |
| 売上総利益 | 550,183 | 626,311 |
| 販売費及び一般管理費 | 326,788 | 297,627 |
| 営業利益 | 223,395 | 328,684 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 448 | 363 |
| 受取配当金 | 499 | 499 |
| 受取保険金 | 8,736 | 11,000 |
| その他 | 3,076 | 4,373 |
| 営業外収益合計 | 12,761 | 16,236 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 8,472 | 7,846 |
| 支払手数料 | 1,750 | 1,750 |
| その他 | 9 | 2,296 |
| 営業外費用合計 | 10,232 | 11,893 |
| 経常利益 | 225,924 | 333,028 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | - | 1,022 |
| 投資有価証券売却益 | 5,758 | - |
| 特別利益合計 | 5,758 | 1,022 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 1 46,460 | - |
| 特別損失合計 | 46,460 | - |
| 税金等調整前四半期純利益 | 185,221 | 334,050 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 95,624 | 80,118 |
| 法人税等調整額 | 21,827 | 25,587 |
| 法人税等合計 | 73,796 | 105,706 |
| 四半期純利益 | 111,425 | 228,344 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 36,263 | 20,428 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 75,161 | 207,916 |

【四半期連結包括利益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 111,425 | 228,344 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 12,757 | 225 |
| その他の包括利益合計 | 12,757 | 225 |
| 四半期包括利益 | 124,182 | 228,570 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 87,919 | 208,141 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 36,263 | 20,428 |

【注記事項】

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

該当事項はない。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 受取手形裏書譲渡高

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|-----------|-------------------------|------------------------------|
| 受取手形裏書譲渡高 | 8,844千円 | 10,833千円 |

2 当座貸越契約及び貸出コミットメント契約

当社グループは、資金調達の機動性を高めるため、金融機関2行との間に当座貸越契約を、金融機関4行との間に融資枠(コミットメントライン)をそれぞれ設定している。

なお、これらの契約に基づく借入の実行状況はそれぞれ以下のとおりである。

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|-----------|-------------------------|------------------------------|
| 当座貸越極度額 | 1,140,000千円 | 1,140,000千円 |
| 借入実行残高 | | |
| 差引借入未実行残高 | 1,140,000千円 | 1,140,000千円 |

| | 前連結会計年度 (平成28年3月31日) | 当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日) |
|--------------|-------------------------|------------------------------|
| 貸出コミットメントの総額 | 1,000,000千円 | 1,000,000千円 |
| 借入実行残高 | 1,000,000 | 1,000,000 |
| 差引借入未実行残高 | 千円 | 千円 |

(四半期連結損益計算書関係)

1 減損損失

当社グループは、事業用資産については、管理会計上の事業単位毎に、また、賃貸用資産及び遊休資産については、それぞれ個別の物件毎にグルーピングを行っている。

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

| 用途 | 種類 | 場所 | 件数 |
|-------|----|-----|----|
| 賃貸用資産 | 土地 | 茨城県 | 1件 |
| 遊休資産 | 土地 | 茨城県 | 2件 |

賃貸用資産及び遊休資産に係る時価の著しい下落または収益性の低下により、上記資産の帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失(46,460千円)として特別損失に計上している。

その内訳は、賃貸用資産(土地)40,888千円、遊休資産(土地)5,572千円である。

なお、当該資産の回収可能価額は、正味売却価額または使用価値により測定している。正味売却価額は、主として路線価による相続税評価額に基づいて算定している。また、使用価値は将来キャッシュ・フローを3.05%で割り引いて算定している。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

該当事項はない。

2 売上高の季節的変動

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)及び当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

当社グループの売上高は、主たる事業である建設事業において、契約により工事の完成引渡し第4四半期連結会計期間に集中しているため、第1四半期連結会計期間から第3四半期連結会計期間における売上高に比べ、第4四半期連結会計期間の売上高が著しく多くなるといった季節的変動がある。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していない。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりである。

| | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|----------|---|---|
| 減価償却費 | 47,311千円 | 40,199千円 |
| 負ののれん償却額 | 976千円 | 976千円 |

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年6月30日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成27年6月26日 定時株主総会 | 普通株式 | 73,063 | 7.00 | 平成27年3月31日 | 平成27年6月29日 | 利益剰余金 |

当第1四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)

配当金支払額

| 決議 | 株式の種類 | 配当金の総額 (千円) | 1株当たり 配当額(円) | 基準日 | 効力発生日 | 配当の原資 |
|----------------------|-------|----------------|-----------------|------------|------------|-------|
| 平成28年6月28日 定時株主総会 | 普通株式 | 104,367 | 10.00 | 平成28年3月31日 | 平成28年6月29日 | 利益剰余金 |

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 建設事業 | 不動産事業 | ホテル事業 | 介護事業 | 太陽光 発電事業 | 合計 | 調整額 (注1) | 四半期連結 損益計算書 計上額 |
|-----------------------|-----------|--------|--------|--------|-------------|-----------|-------------|-----------------------|
| 売上高 | | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 4,014,947 | 56,063 | 21,139 | 33,992 | 68,526 | 4,194,668 | | 4,194,668 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 11,071 | 1,826 | | | | 12,897 | 12,897 | |
| 計 | 4,026,018 | 57,889 | 21,139 | 33,992 | 68,526 | 4,207,566 | 12,897 | 4,194,668 |
| セグメント利益又は 損失() | 189,850 | 3,958 | 475 | 3,154 | 31,276 | 222,407 | 987 | 223,395 |

(注) 1 セグメント利益の調整額987千円は、セグメント間の取引に係る調整額である。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「不動産事業」セグメントの賃貸用資産及び全社資産である遊休資産について、時価の著しい下落または収益性の低下により、帳簿価額を回収可能価額まで減額している。当該減損損失の計上額は、当第1四半期連結累計期間においては、それぞれ40,888千円及び5,572千円である。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はない。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はない。

当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

| | 建設事業 | 不動産事業 | 介護事業 | 太陽光 発電事業 | 合計 | 調整額 (注1) | 四半期連結損益 計算書計上額 |
|-----------------------|-----------|---------|--------|-------------|-----------|-------------|-------------------|
| 売上高 | | | | | | | |
| 外部顧客への売上高 | 3,374,184 | 119,604 | 32,329 | 66,283 | 3,592,403 | | 3,592,403 |
| セグメント間の内部 売上高又は振替高 | 690 | 1,826 | | | 2,516 | 2,516 | |
| 計 | 3,374,874 | 121,431 | 32,329 | 66,283 | 3,594,919 | 2,516 | 3,592,403 |
| セグメント利益又は 損失() | 257,399 | 42,869 | 2,370 | 29,705 | 327,603 | 1,080 | 328,684 |

(注) 1 セグメント利益の調整額1,080千円は、セグメント間の取引に係る調整額2,067千円と各報告セグメントに配分していない全社費用 986千円が含まれている。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っている。

2 報告セグメントの変更に関する事項

ホテル事業は、平成27年10月に事業譲渡を行い、当事業から撤退したため、報告セグメントから除いている。

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はない。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はない。

(重要な負ののれんの発生益)

該当事項はない。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりである。

| 項目 | 前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日) | 当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日) |
|-----------------------------------|---|---|
| 1株当たり四半期純利益金額 | 7円20銭 | 19円92銭 |
| (算定上の基礎) | | |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益金額(千円) | 75,161 | 207,916 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | | |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 四半期純利益金額(千円) | 75,161 | 207,916 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 10,437 | 10,436 |

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載していない。

(重要な後発事象)

該当事項はない。

2 【その他】

該当事項はない。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項なし。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成28年 8月10日

鈴 縫 工 業 株 式 会 社
取 締 役 会 御 中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 酒 井 博 康 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 古 賀 祐 一 郎 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている鈴縫工業株式会社の平成28年4月1日から平成29年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、鈴縫工業株式会社及び連結子会社の平成28年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管している。
2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていない。